



福岡市 緑のコーディネーター 公共空間を創造・保全する担い手育成の取組み

株式会社アーバンデザインコンサルタント

貞清 潔・大杉哲哉・十時 裕・塚田和哉・本村嘉邦・小峯 裕

この取組みは、福岡市の将来像である「自由かつ達人輝く自治都市・福岡をめざして」における市民公益活動の推進、すなわち「新しい公共」を創り育てるという視点から、福岡市における緑化推進の施策に、人材育成の体験型講座を組み入れたものです。

講座修了者は一定の条件を満たすことで福岡市長から認定書が渡され、市とのパートナーシップのもと、「緑のコーディネーター」として主体的・能動的に活動していきます。

このような緑化推進の活動をきっかけに、人と人をつなぐ社会関係づくりから地域コミュニティの再生が図られ、市全体の景観向上、公共空間の保全活動と担い手育成、安心・安全なまちづくりへつながります。

作品概要

作品名：福岡市 緑のコーディネーター
公共空間を創造・保全する担い手育成の取組み
発注機関：公益財団法人 福岡市緑のまちづくり協会
実施体制：①講座カリキュラムに沿って、会場設営、講座の手配、テキスト作成、教材準備、受講生への連絡・通知を行い、講座の運営を行う。
②養成講座修了者の中から、緑化活動に係わる社会参加意欲が旺盛な市民を福岡市長が「福岡市緑のコーディネーター」として認定し、社会参加への支援を行う。
③福岡市緑のコーディネーターの自発的な活動を支援するために、意見交換会を企画実施する。
目的：花や緑に関する知識や技術を持ち、緑化活動に関心の高い方を、市民緑化活動の指導者やアドバイザーとして活躍できる「福岡市緑のコーディネーター」として養成することを目的とする。
実施期間：平成18年12月～平成23年3月

作品評

この作品は、市民とパートナーシップを組むことにより生まれる「新しい公共」の領域や可能性を広げていくモデルとなる取組みであり、大きな意義を持った先進的な事例を複数年に亘って取りまとめたことが評価され奨励賞受賞となった。
また、講座の運営に当たって、実体験に基づく臨場感のある講座とすることや、受講者をお客様にせず、主体性を持ったボランティア市民として扱うための工夫を行った点も高く評価された。
しかしながら、緑のコーディネーター養成講座の講座内容の企画立案や実践的な運営方法に関する説明が十分に読み取ることができず、コンサルタントが主体的に携わった部分が応募資料から明確に読み取れなかったことが悔やまれた。委託者の提示した要望や条件に対してコンサルタントがどのように考え、どのようにして養成講座を企画・運営したかということが明確に説明されていれば、より高い評価が得られたとの声が多かっただけに非常に残念だ。今後に期待したい。

“緑のコーディネーター”とは、

花と緑に関する知識・技術を有し、市民（個人・団体・企業等）による緑化活動への指導・支援、意識啓発に仲間と一緒に取り組める人材である。

緑のコーディネーターの範囲

- ④活動をまとめる（リーダーとなっている）
地域やグループによる緑化活動を活性化（立ち上げる）
〔緑化活動によるまちづくりの気運が高まっているところやグループに、まちづくりのリーダーとして入り、みんなが自ら実現できるように指導する。〕
- ③場をつくる（講座を開いている）
生涯学習や学校教育の緑化啓発
〔市民の緑化意識を育成・充実していくために、様々なまちづくりや教育の現場を活用して、花と緑の魅力を伝え、ボランティア精神を育む。〕
- ②相対する（相談にのっている）
花と緑に関する質問や要望に応じて、人と活動の情報収集と充実
〔緑化に対する地域や市民の日頃感じている問題点や要望の相談窓口となり、やる気のある人々の情報収集とアドバイスをを行う。〕
- ①率先する（活動し汗を流す人）
ボランティアとしての積極的な参加
〔地域や団体等に緑のコーディネーターと自分を知ってもらい、活動の場を自ら発見する。〕

緑のコーディネーター



園芸講座の講師



園芸実践指導



苗作りの指導



里山保全活動